第8講 ● 春！　春！　春！

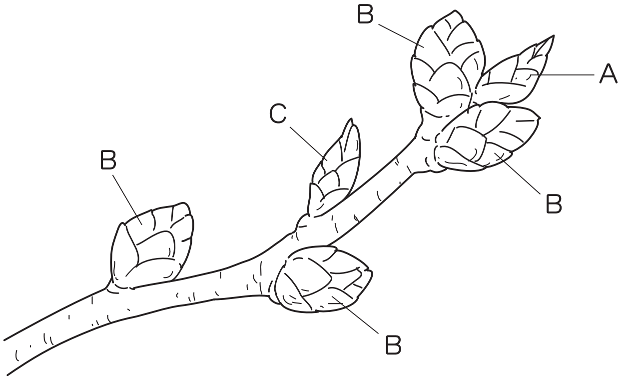
【テーマ】　春に見られるものに注目しよう

問題 1　サクラ（ソメイヨシノ）にこだわってみよう

① 右の図はサクラの冬越(ご)しのときの芽(め)の様子を示しています。

さて、この中で、春になって花になる芽はどれだろう？

（　　）



ア　Aだけ　　イ　Bだけ　　ウ　Cだけ

エ　AとB　　オ　AとC　　カ　BとC　　キ　全部花になる

② それでは、この冬越しの芽はいつごろつくられるのかな？　（　　）

ア　秋につくり、冬を越す。

イ　夏につくり、冬を越す。

ウ　冬につくり、冬を越す。

③ この芽はどういう順番にさくのかな？　（　　）

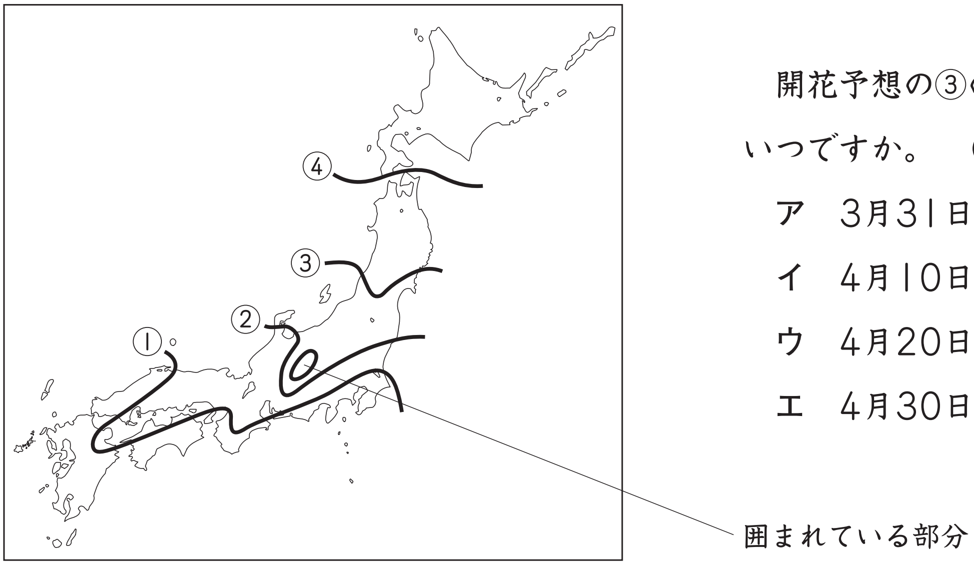
ア　花の芽が先に開き、あとから葉の芽が出る。

イ　葉の芽が先に開き、あとから花の芽が出る。

ウ　どちらもほぼ同時に開く。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　下の図は、サクラの花（ソメイヨシノ）が同時に開くと予想された日が等しい土地を線でつないで作られたさくらの開花予想の図です。①から④の線は3月31日、4月10日、20日、30日の4つのどれかを示しています。



開花予想の③の日付はいつですか。（　　）

ア　3月31日
イ　4月10日
ウ　4月20日
エ　4月30日

開花予想の日付を君たちはどうやって判断したのかな？

⑤　なんだかよくみると、矢印の部分は線で囲まれているよね。この範囲（はんい）の桜の開花予想はどうなるのかな？下から選びましょう。　（　　）

また、どうしてこの部分だけこんな風に特別になっているのかな？自由に考えてみよう。

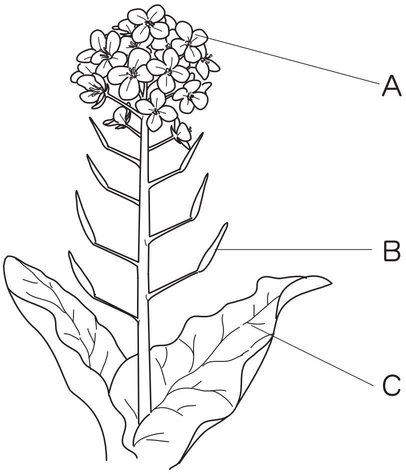
ア　3月31日より早く開花する　　イ　3月31日～4月10日に開花する
ウ　4月10日～4月20日に開花する　　エ　4月20日～4月30日に開花する
オ　4月30日より遅く開花する

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問題 2　アブラナにこだわってみよう。

① アブラナの花の特ちょうをすべてうめられるかな？

花びら（　　　　）枚、おしべ（　　　　）本の植物。



② 上のA、B、Cはそれぞれ何ですか。よく見て答えましょう。

A（　　　　）　B（　　　　）　C（　　　　）

③ アブラナの花はどのようにさいたのかな？　（　　　）

ア　上から下へ順番にさいていく。

イ　下から上へ順番にさいていく。

ウ　順番は特にきまっていない。

④ アブラナにはモンシロチョウの幼虫（ようちゅう）がいた。このことから、アブラナと同じ仲間（なかま）の植物を下から選ぼう。　（　　　）

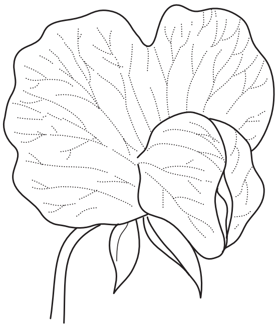
ア　キャベツ　　イ　ナス　　ウ　トマト

エ　ダイコン　　オ　カボチャ　　カ　スイカ

キ　ゴボウ　　ク　レタス　　ケ　タマネギ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問題3　エンドウにこだわってみよう。



①　エンドウの花の特ちょうをすべてうめられるかな？

花びら（　　　）枚、おしべ（　　　）本の植物。

【重要】　マメの仲間の花は3種類で5枚の花びらを持っています。このように、花びらの形がちがう花はめずらしいので、覚えておきましょう。

②　エンドウの花と同じ仲間はどれかな？　（　　　　　　　　）

ア　フジ　　**イ**　ダイズ　　**ウ**　アズキ　　**エ**　スイートピー

オ　カラスノエンドウ　　**カ**　ラッカセイ

③　エンドウの花びらは閉(と)じていて、中のおしべやめしべが見えないつくりになっています。おしべの先でつくられた花粉(かふん)がめしべの先につくことを受粉(じゅふん)というんだ。この受粉ができないと実はできないんだよ。さて、ここで疑問。いったいどうやってエンドウのめしべに花粉がつくのだろう？自由に考えてみよう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問題 4　いろいろな鳥にこだわってみよう。

① 渡(わた)り鳥って知っているかな？夏鳥、冬鳥、旅鳥などのことなんだ。それに対して一年中日本にいる鳥のことを留鳥(りゅうちょう)というんだ。さて、下の鳥たちを分類してほしい。

カラス	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）
チドリ	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）
ハクチョウ	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）
カッコウ	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）
スズメ	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）
ガン	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）
シギ	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）
カモ	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）
ツバメ	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）
ハト	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）
ホトトギス	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）
ツグミ	（　夏鳥・冬鳥・旅鳥・留鳥　）

【覚えよう】

夏鳥　⇒

冬鳥　⇒

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② 夏鳥と冬鳥はどうして日本にくるのかな？その理由を考えてみよう。

夏鳥は夏に日本で

冬鳥は冬に日本で

③ ツバメやスズメは民家の屋根の下や、かわら屋根のすき間などに巣をつくります。それはどうしてか自由に考えてください。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第8講・確認テスト

【チェックしよう】

春の不思議(ふしぎ)に答えよう。

(1)　次の文章を読み、春のころのことがらを示(しめ)しているものに○をつけなさい。

ア　サクラの花がさく。　　**イ**　アサガオの花がさく。

ウ　ヒガンバナの花がさく。　　**エ**　ツバメが日本にやってくる。

オ　ツバメの子が巣立つ。　　**カ**　初めてモンシロチョウを見た。

キ　アブラゼミがないている。　　**ク**　ヒグラシがないている。

(2)　次の文章は春について書いたものです。これを読み、正しければ○、あやまりならば×を答えなさい。

(　○・×　)　気温がしだいに上がっていく。

(　○・×　)　毎日太陽高度が高くなっていく。

(　○・×　)　ホトトギスが南へ帰って行く。

(　○・×　)　カモが北へ帰って行く。

(　○・×　)　サクラが南の地方からしだいに北の地方へさいていく。

(　○・×　)　アブラナの花にモンシロチョウが止まっている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈Note〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第8講 ● 春！　春！　春！

問題 1

① イ

② イ

③ ア

④ ウ

サクラは気温の高い土地から花が開くと考えたから。

⑤ エ

ここには高い山があり、山の上は気温が低いために開花がおくれると考えられるから。

問題 2

① 花びら　4枚　　おしべ　6本

② A　花びら　B実（果実）　C　葉

③ イ

④ ア、エ

問題 3

① 花びら　5枚　　おしべ　10本

② ア、イ、ウ、エ、オ、カ（すべてマメ科の仲間です）

③ 花が開いていないために、こん虫がもぐりこんでついたり、風で運ばれた花粉がついたりすることはほとんどありません。エンドウの花の中で、おしべがのび、めしべにつきます。このような受粉方法を自家受粉といいます。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問題 4

①

カラス　留鳥　　チドリ　旅鳥　　ハクチョウ　冬鳥　　カッコウ　夏鳥

スズメ　留鳥　　ガン　冬鳥　　シギ　旅鳥　　カモ　冬鳥

ツバメ　夏鳥　　ハト　留鳥　　ホトトギス　夏鳥

ツグミ　冬鳥

【覚えよう】

夏鳥　⇒　ツバメ、カッコウ、ホトトギス

冬鳥　⇒　ツル、ガン、ツグミ、ハクチョウ、カモ

②　夏鳥は夏に日本で子を増やし、育てるためにくる。

冬鳥は冬に日本で冬越しをする。

③　人が住んでいる家の近くには自分たちの天敵が近寄ってくることが少ないため。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第８講・確認テスト

解答（かいとう）

(1)　ア エ カ

(2)　順に○・○・×・○・○・○

解説（かいせつ）

(1)　解答以外のものの季節は　イ 夏　ウ 秋　オ 夏　キ 夏　ク 秋

(2)　ホトトギスは夏鳥です。日本で夏を過ごすため、南へ帰るのは夏の終わりから秋にかけてです。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。